

令和8年度白井市市民団体活動支援補助金 質問事項

白井写真部(活動促進型)

- ・イベント開催を中心として設計されている。さらにデジタルデータの有効利用を検討いただくことで、取り組み成果の持続性を発揮できる可能性が広がるのではないかと。
- ・例えばウェブサイト上に、今回の事業を基盤として、ヴァーチャル写真館を設ける、相互交流サイトページを設けるなどの取り組みは検討できないか。
- ・備品について、初期投資と賃借料に関して触れており、団体構成員での貸し借りではすべてが賄えないというのが性能面、つまりスペックを理由としているが、昨今は一般市民でもミラーレスの一眼レフまたは高性能コンパクトを所有しているのを見かける。「機材選定及びレンタルの背景」を元に詳しく説明していただきたい。
- ・補足資料「機材選定及びレンタルの背景」の中に「今年度の実施結果をもとに」とありますので、レンタル品と構成員のカメラ2台体制で比較検証を行うという理解でよろしいか。
- ・市民広報活動団体の持続性に関して、名簿を拝見したところ男女のバランスがとれている印象を受けるが、年齢別ではどのような階層別になるか。
- ・団体を次の世代にバトンタッチ、つまり新規募集を行い入会希望者に繋げる、未来へつなぐ努力がされているかと思うが、あれば具体的に教えていただきたい。
- ・今後も賃借料は発生すると思うが、会費だけでまかなえるのか。
- ・今後も機材はリースで利用していく予定か。
- ・今回の機材のリース代金の中に返却までの送料分は含まれているのか。
- ・ノートパソコンの賃料は計上しているが、画像修正ソフトは無料のものを使用するのか。
- ・市が主導だった時と違い、各センターのフェスティバル参加など様々な参加が考えられる。また各センター講座の講師としても活躍できそうに思う。そうすれば講師料が自主財源になりそうだと考えるが、ビジョンとしてあるのか。
- ・活動を広く知ってもらうための発信計画はあるか。
- ・過去の実績や参加者の声の活用は検討しているか。
- ・地域への愛着醸成につなげるために重要と考える要素は何と考えているか。
- ・毎年行っているふるさと祭りの来場者の一コマや会場の状況をリアルタイムに記録し後世に残すことは地域の財産になると思う。今までの活動の中で写真データを転送、保存を行ったことはあるか。

おもしろいタウン(活動促進型)

- ・実施体制における、教育委員会(学校教育・社会教育)、学校教員や社会教育主事(社会教育士)のかかわりはどうなっているのか。今後、継続的にこうした事業を子ども(さらにかかわる大人)育成の主流にのせていくためにも、ぜひ初動段階から教育委員会・学校教員・社会教育主事(社会教育士)等のかかわり(連携体制)を運営体制に盛り込んでいくことがポイントではないかと考える。
- ・令和7年度決算と活動実績を見ると、今年度も予想外の事が起きるのではと考える。人員不足での来場者への対応不足、休憩や要領不足などがアンケート結果から見受けられるが、この点今年度では子どもスタッフを先着50名とあり、どのように改善が図れるのか教えていただきたい。
- ・子どもスタッフの募集を先着としているが、かなりの人数が自発的に手を上げてくるのか。義務的ではないということよろしいか。
- ・令和7年度支出の体育館ガラス修繕費について、発生の経緯やけが人の有無など説明いただきたい。
- ・団体の持続性について、団体を次の世代にバトンタッチ、つまり新規正会員・賛助会員募集を行い入会希望者に繋げる、未来へつなぐ努力について、あれば具体的に教えていただきたい。
- ・会費の記載がないが、自主財源として何かあるのか。(協賛金・寄付金がなかった場合は?)
- ・今回もしくは今後、消防署のように職業体験的なブースと子どもたちの企画したブースとコラボしていく展開になる予定か。(コメントに警察や病院・図書館などあるといいとあった)
- ・日本各地でも同様の活動が行われているが、白井ならではのものはどういったところか。
- ・子どもたちの自主性を引き出し、方向性を示唆する人がいるのか。スタッフが行うのか。
- ・当日スタッフ50名の確保方法と見込みはあるか。
- ・保護者参加や来場者増に向けた工夫はあるか。
- ・行政との協働により実現したい理想像は何か。また、その実現に向けて現時点での課題や不足点は何と考えているか。

桜台剣友会(活動促進型)

- ・経費についてそのほとんどが消耗品・原材料費・食糧費に偏っているのがやや気がかりである。ボランティアスタッフの負担を少しでも軽減するために交通費などの実費経費を盛り込むなども考えられると思う。
- ・参加者に喜んでもらいたいという気持ちは理解できるが、お菓子の購入費用が多いように感じる。
- ・今回提案いただいた活動は、剣道の体験会など団体の会員募集の一環ともとらえられるが、どこが公益的な活動であるのか、具体的に説明してほしい。
- ・今回の補助事業後の継続面での工夫について、より具体的に提示していただきたい。特に教育委員会・学校教育との関連性を念頭に置かれているので、その点を含んだ実施体制(体育教員との連携など)の現状や発展見通しなどについても提示いただきたい。
- ・団体の持続性に関連して、規約第3章に規定している会員の募集について、現状新規会員はどのような状況か。また、通年の活動と今回の地域剣道を核とした活動を通して、どのような未来へつなぐ見込みか、あれば具体的に教えていただきたい。
- ・会費の記載がないが自主財源として何かあるのか。(協賛金・寄付金がなかった場合は?)
- ・現在の活動場所である桜台中学校から市内全般に活動を広げていくイメージなのか、活動場所に来てもらうイメージなのか。
- ・成田剣道連盟に所属されているが、白井市スポーツ連盟に加入はされないのか。
- ・参加規模の想定はどのような前提で設計されているか。
- ・今後の拡張性についてどのように考えているか。
- ・告知手段の具体的な設計と役割分担、効果の想定はあるか。
- ・参加者が継続的に関わるための仕組みや工夫はあるか。
- ・桜台の道場まで通う事ができるか、近隣地域ならば。
- ・剣道着等についてはどのような扱いになるのか。
- ・参加者の保険は予算化されていないが、事故やケガの対応はどのように対応するのか。
- ・サッカーや野球等に比べて、競技人口が少ない剣道で人を集めるのは大変だと思う。事前周知などの方法について工夫が必要だと考える。

白井市文化センターを未来につなぐ会(活動発展型)

- ・単発のイベントに終わらせずに、継続発展するような工夫を提示いただきたい。
- ・特に、センターの魅力と国際交流とを相乗的に高めていくために今回の取り組みがどのように、今後継続していくのか、施設改修後の活用として、具体的にどのような展開を想定(あるいは現段階で準備)しているのか、さらに具体的に提示していただきたい。
- ・今回、なし坊ホールでの講演のオファーをかける予定とあるが、45分間での出演について、人選とコスト、他の講演内容検討もあったのかなど、カテリーナさんに講演依頼をするに至った経緯を教えてください。カテリーナさんの講演料の相場と演者が当日に向けての準備、移動費などは理解したうえで質問になります。
- ・前回の補助事業であったなぞときゲームから一転、ピンポイントでカテリーナコンサート開催になったが、その経緯が知りたい。
- ・今回の補助金審査とは直接関係ないが、ひとくちに文化センターといっても、大中ホール、図書館、プラネタリウム、郷土資料館と多岐にわたるが、団体として数年後にどうしていった、どうなっていくというビジョンを持っているのか聞きたい。
- ・アンケートではどのような項目を収集し、何を明らかにしようとしているのか。
- ・アンケート結果を今後の企画にどのように反映させる想定なのか。
- ・本事業を継続していく上で、どのような発展の方向性を描いているのか。
- ・単発イベントにとどまらず、文化センター活性化につなげる構想はあるのか。
- ・ペルーダンスとカテリーナ氏が出演されて、総額で65万円の費用がかかるが、来場者見込みが250人となっているので、1人あたり2,400円の経費がかかっている事になる。費用対効果の観点からすると事業そのものに疑問を感じる。
- ・カテリーナ氏に支払われる30万円の出演料の根拠は？2025年2月8日(土)開催の催しに、カテリーナ氏は特別出演されていますが、その際入場料は無料となっている。出演料の減額交渉はできないのか。
- ・既にインターネットでコンサート開催について広報されているが、もし補助金を受けられなかった場合、経費はどのように捻出するのか。